各交通モード・施設と交通戦略の関係

- ▶ 各交通施策を、交通モード別にハード施策・ソフト施策に分けて整理
- ▶ 各交通モードを連携する施策については、「各交通モード間を連携するシームレスな交通」として整理

			4 7) E					<u> </u>	· '		_		ם נחו	~	75 7				\ \ \ \ \ \	. ~== _			· म ·													
交通手段		地下鉄]	路配	面電車		JR	(鉄	道)		バ	ス		タクシー			茎	を通紀	節点					道新幹 線	F	丘珠空	港		公	共交通金	≧般	
施策分類 ハードを備等) (施設整施等) (活用・運用等)	◆ 高架部の耐震化の検討・実施	リアフリー化の推進(エレベータN環境の整備、トイレの洋式化)上(案内表示や券売機の多言語化)	を対象としたイベントや	● 「駅の個性化プロジェクト」の実施	● サービス向上に向けた乗車券の企画・発行	● 同伴幼児の無料人数拡大	◆ 延伸検討	◆ 低床車両導入	◆ 強、車両基地改良等) ◆ 軌道施設の機能充実(電停バリアフリー化、制振軌道化、電力設備増	(上下分離の導入)	◆ 駅のバリアフリー化の推進	◆ 高架橋の耐震化の検討・実施	● 快速エアポートの増強等による新千歳空港へのアクセス強化	● 新たな運行手段(デマンドバス等)の導入検討	● ノンステップバスの導入推進	者 の 利 便	の移動手段の確保(赤字バス路線の運行に対する補助等)	ーサルデザイ	 	◆ 大通・創世交流拠点の基盤整備の検討・実施	◆ 新さっぽろ駅周辺地区の整備(空中歩廊、地下接続)	◆ 苗穂駅周辺地区の整備(空中歩廊等)	◆ 篠路駅周辺地区の検討・整備(連続立体交差、駅前広場、区画整理)	◆ バスターミナルの耐震化・バリアフリー化の推進	◆ 真駒内駅周辺地区の検討・整備	● バスターミナルの効率的な維持管理及びあり方検討	◆ 北海道新幹線(新函館北斗~札幌間)の建設事業の推進	運醸成 北海道新幹線利用促進に向けた啓発PRの実施、札幌延伸に向けた機	致	◆ 丘珠空港ターミナルビル機能拡充・アクセス強化などの空港利用価値	利活用の在り方に関する検討	● 「札幌らしい交通環境学習」などモビリティ・マネジメントの推進	●観光案内サインの充実	周遊バス等)	● 高齢者の外出支援(敬老優待乗車券証の交付)	◆ 清田方面公共交通機能向上の検討
安全・安心なまちづく りパッケージ	•					•		•	•		•	•			•			•			•	•		•											•	
多様な暮らし パッケージ				•		•				•				•		•	•				•		•		•	•						•			•	•
都心まちづくり パッケージ		• •					•	•	•		•		•						•	•				•												
観光まちづくり パッケージ		•					•	•	•				•			•		•	•	•							•	•	•	•	•		•	•		
広域連携 パッケージ													•						•	•							•	•	•	•	•					
環境負荷低減促進 パッケージ		•	•		•		•	•	•		•			•	•	•	•							•								•				

々六海エーじ、佐沙レ六海戦略の則反

交通手段 施策分類 △	・交通モード・施設と交通戦略の関係 _{自動車} 駐車場 自転車 徒歩 各交通モード るシームレ																																			
佐竿心箱	自動車 駐車場 自転車																Ħ	主車場			自東	京車					徒	步								
● お心アクセス強化道路軸の検討・整備(創成川通の機能強化等)	◆ 連携道路の検討・整備(屯田・茨戸通、札幌江別大橋等)	◆ 環状道路の検討・整備(環状通、五輪通等)	◆ 放射道路の検討・整備(国道230号等)	◆ 緊急輸送道路の整備	◆生活道路の整備	◆ 交差点改良や既存道路空間の有効活用による渋滞対策の推進	◆ 道路拡幅などによる幹線道路ネットワークの機能強化	◆ 道路の効率的な維持管理の推進(舗装・橋梁補修等)	◆ 既設橋梁の耐震補強	◆ 拠点等の幹線道路における無電柱化の推進	◆ 幹線道路等の交通事故対策	● 長期未着手の都市計画道路の見直し	● 幹線道路における重点的・効率的な徐排雪の実施	● 次世代自動車・充電設備の普及促進のための補助の実施	● 水素ステーション整備のための支援	● シーニックバイウェイの推進	◆ 附置義務駐車場の整備適正化・集約化の促進	● 路外施設を活用した荷さばきの推進	◆ 都心部に乗り入れる観光バス乗降場・待機場の確保	◆ 総合的な駐輪対策の推進(駐輪場整備、放置禁止区域拡大等)	◆ 自転車通行空間の明確化(路面標示設置、道路空間再配分等)	● 自転車利用のルール・マナーの効果的な周知・啓発	● 民間によるシェアサイクルの展開	◆ 歩道バリアフリー化の推進	◆ 都心の骨格構造の強化・検討(いとなみの軸の回遊性向上に向けた検討等)	● 広場空間や道路空間を活用した賑わいの創出	通待合空間、共同荷さばき場、観光バス乗降場等) 民間開発との連携による交通施設の整備(歩行・滞留空間、空中歩廊、公共交	よる地下歩行ネットワークの充実	● 冬期歩道のつるつる路面対策の推進	● 情報提供アプリ「さつチカ」の運用による都心部地下の利便性向上	● 都心部における帰宅困難者対策(地下歩行空間等の一時滞在施設の機能強化等)	● 災害時等における情報提供の充実	● −CTを活用した観光客向け交通情報の一元的な情報発信	● SAP-CAの利便性向上	● 「えきバスナビ」の機能向上	● 公共交通の次世代連携の調査・検討
安全・安心なまちづく りパッケージ				•	•			•	•	•	•	•	•								•	•		•				•	•		•	•	•			
多様は暮らし パッケージ						•	•						•							•				•			•							•	•	•
都心まちづくり パッケージ										•							•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•						
観光まちづくり パッケージ		•	•													•			•				•	•						•			•	•	•	•
広域連携 パッケージ	•	•	•																																	
環境負荷低減促進 パッケージ						•	•						•	•	•		•																	•	•	2